

2021年7月

お客様各位

岡部株式会社
旭化成建材株式会社

ベースパック柱脚工法におけるレベルモルタルの高さについて

記

ベースパック柱脚工法は、ベースプレート下端と基礎コンクリート上端との間隙の基準値を30mm、管理許容差を10mm～40mmとして施工管理を行うこととし、これを前提に製品設計を行っています。

なお、この管理許容値を超えた場合に、ナットの余長不足やアンカーボルトの基礎コンクリートへの定着不足等の不具合を生じる恐れがあります。

従って、計画時におきましては、ベースプレート下端と基礎コンクリート上端との間隙を30mmとしてご設計下さいますようお願い申し上げます。

以上